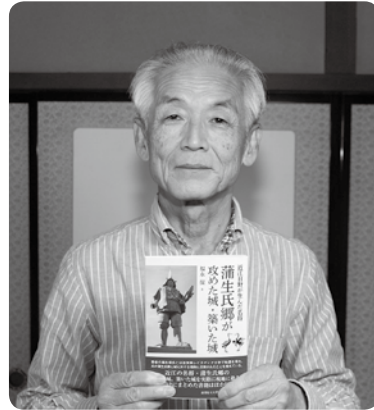


発見



『近江日野が生んだ名将
蒲生氏郷が攻めた城・
築いた城』を出版

福永保さん



蒲生氏郷公顕彰会副会
長福永保さんが、9月27
日(日)、自身初の著書『近
江日野が生んだ名将 蒲
生氏郷が攻めた城・築い
た城』を出版されました。
今回、蒲生氏郷の魅力
や著書に込めた想いを伺
いました。

氏郷は「築城の能手」

趣味が「城巡り」の福
永さん。定年退職後、「氏
郷が行った所に実際に行
きたい」と会津若松城や
松阪城などに訪れるよう
になったそうです。

古文書や発掘調査報告
書などで調べ、実際に49
城をまわり、「氏郷が見た
景色はこういうものだった
のではないか」と想いを
馳せながら1年半かけて
執筆されました。
『氏郷は「築城の能手」
と専門家から言われてい
ます。東北で初めて石垣
造りの城を築いたほか、
城をつくるだけでなく城
下町を整備して、産業の
発展に尽くすなど町づく
りにも長けていた」と氏
郷の町づくりの功績につ
いて話してくださいまし
た。また著書には、負け

戦が無いほど戦が強かつ
たことや家臣の育成に尽
力した氏郷の魅力につい
ても描かれているそうで
す。

著書に込めた想い

「日野の人や子ども達に、
氏郷を知ってもらえたら
という想いで書きました。
本にしておく、100
年後200年後でも、誰
かがこの本を手にとって
氏郷のことを知ってもら
えるのではないかと思
います。また、興味があ
る方はぜひ、本で調べた
り、現地に行ったりして
ほしいです。そして自分
なりの氏郷に対する見方
を持ってもらえたらと思
います」と話してください
ました。

著書は2,300円(プ
ラス税)。石岡教文堂カル
チャーハウスやフレンド
マート日野店、またイン
ターネットで注文もでき
ます。
また、蒲生氏郷公顕彰
会では、9月にホームペー
ジを製作されました。ゼ
ヒチェックしてみ
てください。



▲蒲生氏郷公顕彰会ホームページ

滋賀県総合防災訓練が 実施されました

9月20日(日)、令和2年度滋賀
県総合防災訓練が実施されまし
た。これは、各防災機関、関係団
体、企業、地域住民等の参加のも
と、災害時に関係者が連携して、
迅速かつ的確に対応できる体制の
確立と県民の防災意識の高揚を図
る目的で行われています。

訓練では、日野町を含む東近江
圏域内の自治体や公共機関、電気
や交通関連の各団体等で情報収
集・伝達を行いました。新型コロナ
ウイルス感染症対策として、遠



パーティションなどを利用して避難場所を設置

隔からWEB通信を活用した災害
対策本部会議を実施。また、避難
場所ではパーティションなどを利
用してソーシャルディスタンスを
確保する訓練や、医療機関や消防
が連携して体調不良者の搬送訓練
なども行われました。

新型コロナウイルス感染症の流
行により、より具体性と現実性が
求められる中、大規模な訓練によ
り防災意識を高める良い機会とな
りました。



WEB通信を利用した災害対策本部



ひのっこだより

町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や、特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

桜谷小学校

【学校教育目標】一人ひとりが喜びと充実感を味わえる学校
～あたたかい人間関係を通して～

●自信につながる学びの保障

算数では、5・6年生は2チームに分けて、また4年生以下は教職員2人体制で授業を行っています。子どものやる気を引き出し「できた!」「わかった!」につながる指導をめざしています。



少人数教室での学習の様子

●健康を支える土台づくり

休校もありましたので、「けんこう週間」「歯っぴー週間」「自分にチャレンジ」などの取組を通して、自分で目標をもって基本的な生活習慣が確立・維持できるよう、働きかけています。今年度は特にゲームをする時間を意識してほしいと考え、呼びかけています。



昨年度の「地域ふれあいDAY」
「地域の名人さんに弟子入りしよう」より

●地域の皆様とともに

地域の皆様のご支援のおかげで、桜谷の豊かな自然や歴史を生かした特色ある教育活動を展開することができています。

コロナ禍においても、感染予防に努めながら、学校でしかできない学びを大事にしていきたいと考えています。

●自主性を生かした児童会活動

活動が制約される中、6年生中心に縦割りや委員会の活動を工夫する姿が見られ、頼もしく感じています。思いやりや責任感、リーダー性等を育むことができるよう、支援していきたいと思えます。



校内テレビで感染予防を呼びかける6年生



地域の方からマスクを受け取る執行委員



4年生愛鳥学習

校訓 創造・進取



日野小学校

【学校教育目標】自ら学び、心豊かにたくましく
生きようとする子どもの育成

日野小学校は、今年で創立147年目を迎えます。日野町内で一番大きな小学校で全校児童は547名(5月1日現在)です。学校教育目標のもと、「支えあおう!学びあおう!高めあおう!」を合言葉に、さまざまな取組をしています。今回は、本校が実践する食育について紹介します。

学校畑は素材の宝庫!

本校では、校内に各学年の畑があります。畑では、それぞれの学年が、サツマイモ、日野菜、トマト、カボチャ、玉ねぎ等、たくさんの野菜を栽培しています。また、河原の田んぼで米作りもしています。栽培だけでなく、生長中の観察や収穫後には調理もしています。また、子ども達は地域の専門家からも指導をうけています。



毎日の給食を通して...

平成30年に本校給食室が新しくなりました。栄養教諭や調理員による厳しい衛生管理のもと、毎日、安全でおいしい給食が提供されています。

また、給食時には、給食委員会による献立紹介や食に関する紙芝居やクイズ、リクエスト給食の実施等、子ども達自らが食への意識を高める活動を行っています。

栄養教諭による指導

本校には、栄養教諭が在籍しており、低学年から「ジュースの飲み方」「カルシウムで骨を強く」等、系統的に指導を行っています。また、家庭科では、担任とともに「バランスの良い献立」等、子どもが主体的に食について考え、実践するための指導を行っています。



子ども達の健やかな成長にも“食育”は大切です。今年度実施した「朝食摂取状況調査」では、「毎日食べる」と回答した児童は、84.6%でした。さらに食育指導の充実に向け、児童が主体的に、体の成長や健康に“食”が大切であることを自覚できるよう地域・家庭とも連携していきたいと思えます。

◆問い合わせ先 教育委員会事務局 学校教育課 ☎0748-52-6564